

映像技術最新動向

～ ネットワーク時代の映像制作ワークフロー ～

主 催 山 形 県

＜受講のおすすめ＞

～ MPEG 画像転送フォーマット MXF ～

デジタルCS/BSデジタルや地上波デジタル放送は、全てMPEG圧縮方式で送出されています。DVD VideoでおなじみのMPEG2は、ブロードバンドでのストリーミングにも採用されるようになり、1つの映像コンテンツが放送／DVD／ストリーミングなど、マルチユースに利用される時代をむかえました。

映像コンテンツ制作の現場にも、MPEG化の波が押し寄せています。プロ仕様のビデオ機器の標準規格を制定しているPro-MPEGフォーラムでは、MPEG画像転送フォーマットであるMXFを制定しました。MXFによりTCP/IPネットワーク上のファイル転送が可能になり、既存のテープメディアに代わるオンラインでの素材流通、完パケ納品の可能性が開けたのです。

本講演では、MPEG制作システムでの高品質フォーマットMPEG/IMXについて、カメラ撮影からノンリニア編集、納品までのワークフローを世界標準のMXFファイルを中心に解説します。機器のデモンストレーションを交えながら、MXFをキーワードにした、特定メーカーに依存しないオープンな番組素材交換プラットフォームを検討する良い機会です。放送局、CATV、制作プロダクションや社内広報部門など、映像制作に興味ある多くの方にご参加をおすすめします。

記

- 1 日 時 平成17年3月23日(水) 15:00～17:00 (2時間)
- 2 場 所 山形県産業創造支援センター 多目的ホール
〒990-2473 山形市松栄一丁目3番8号 (Tel 023-647-8111)
- 3 講 師 ソニーマーケティング株式会社
ソリューションビジネス推進部 B&Pプロダクツ推進課
シニアビジネスプランニングマネージャー
小 川 幸 夫 (OGAWA, Yukio) 氏

4 内 容

第1部 15:00～16:30	「世界標準MXFファイルによる番組素材交換」 Pro-MPEG フォーラムは、プロ仕様のビデオ機器の標準規格を制定する業界団体であり、MPEG および DV などのビデオ圧縮標準規格を扱っています。プロ仕様のカメラ／カムコーダやビデオ・ルータ、スイッチャ、ビデオ・サーバ、ノンリニア編集機などの放送機材を扱うメーカーのほか、大手のインターネット関連企業を多数集め、TCP/IP上でのMPEGデータ配信の仕様を策定し、番組素材交換の市場を創出しようとしています。 ●3つのオープン戦略 ●Pro-MPEG フォーラム ●MXFファイルの構造 ●ソニーのMXFへの対応 ●ノンリニア編集におけるワークフロー改善 ●番組素材交換への活用 ●番組簡易アーカイブ用途への活用
第2部 16:30～17:00	「プロフェッショナル向けMPEG制作システム」 放送機材のメーカーとして、ソニーが提案するMPEG制作システムをご紹介します。撮影から編集、送出・伝送そして配信までを共通プラットフォームで実現、映像コンテンツの出力形態に合わせ、制作から運用全てを同一フォーマットで実現します。 ●プロフェッショナルディスクシステム - MPEG IMXフォーマット対応デッキ(XDCAMデッキ) ●1/2インチテープ素材デッキ (MPEG IMX VTR: e-VTR)

(用語解説)

MXF : Material eXchange Format

Pro-MPEG フォーラムにより標準化推進中のイーサネットを接続フォーマットとした標準ファイルフォーマット。AAFアソシエーション、EBUとの共同開発プロジェクトにより高機能化され、現在国際標準化機関「SMPTE」において標準化作業が続けられている。

MXFは圧縮方式や信号フォーマットに依存しないファイル交換フォーマットのため、インターネット、LANなどのストリーミング可能な環境にファイルを転送することで、ストリーミング機能を実現。また、MPEG IMX, HDCAM, DV などのAVコンテンツだけでなく、その内容・種類・撮影場所・撮影機材など番組／CM制作に欠かせないメタデータも一体化して送ることが可能です。撮影から編集、送出、アーカイブまでをファイルで一元管理することで、制作現場の効率性向上、コスト削減が期待されています。

MPEG: Moving Picture Expert Group

本来マルチメディア符号化を行っている組織の略称だが、最近では動画圧縮における国際規格の呼び名として有名。MPEG規格はもともと、蓄積メディア、放送、通信などのためのマルチメディア符号化の規格でしたが、MPEGのフェーズが進むにつれ、より広範囲な内容を含むものとなっている。

IMX : Interoperability via MPEG-2@ML bit stream (ソニー独自)

MPEG-2 4:2:2 @ML 圧縮および SDTI-CP MPEGビットストリームインターフェースを示す。

5 参加費 無 料

6 定 員 30名程度

7 申込期限 平成17年3月22日(火)
申込書をFAXください。電子メール、Webでも申し込みできます。
mailto:seminar@aic.pref.yamagata.jp http://www.aic.pref.yamagata.jp/

8 連絡先 山形県産業創造支援センターデザイン・情報課
金内秀志 (KANAUCHI, Shushi)、多田伸吾 (TADA, Shingo)
〒990-2473 山形市松栄一丁目3番8号
Tel 023-647-8111 , Fax 023-647-8118

山形県産業創造支援センター デザイン・情報課
MXF講演会窓口 宛
TEL023-647-8113, <http://www.aic.pref.yamagata.jp/>

セミナー参加申込書

貴社名		
貴社住所	〒 TEL : - -	
代表者名	(所属・役職)	
課程名	映像技術最新動向 ～ネットワーク時代の映像制作ワークフロー～ ソニーマーケティング株式会社 小川幸夫氏	
開催日	平成17年3月23日(水) 15:00～17:00	
会場	山形県産業創造支援センター 多目的ホール 〒990-2473 山形市松栄1-3-8 TEL023-647-8111	
会費	無 料	
申込期限	平成17年3月22日(火)	
受講者1	フリガナ 氏 名	
	所属・役職	
受講者2	フリガナ 氏 名	
	所属・役職	
受講者3	フリガナ 氏 名	
	所属・役職	

【備考】

1. Webでの申し込み受付も行っております、ご利用下さい。
<http://www.aic.pref.yamagata.jp/>
2. 本申込書をもって受講票とさせていただきますので、当日受付に提出ください。
3. 4名以上のお申し込みの際は、本申込書をコピーしてお使い下さい。